

(お知らせ)

定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所5号機における
使用済燃料プールの水位低下について

平成17年9月2日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所5号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、平成17年7月4日から第11回定期検査を実施しておりますが、9月1日午後7時55分頃から原子炉ウエルの水抜き作業を実施し、引き続き原子炉ウエルと使用済燃料プールをつなぐプールゲート(仕切り板)間の水抜き作業を開始していたところ、午後11時26分頃に「燃料プール水位低」の警報が発生したため、保安規定に定める「運転上の制限」^注を満足していないと判断しました。

直ちに現場を確認したところ、使用済燃料プールの水位が低下していたため、使用済燃料プールへの水張り作業を実施し、当該警報は解除され、9月2日午前2時33分頃「運転上の制限」を満足していることを確認しました。

その後、使用済燃料プール側からの水圧によるプールゲートの密閉性を確認するために水抜き作業を実施していたところ、午前4時11分頃に再び「燃料プール水位低」の警報が発生したため、保安規定に定める「運転上の制限」を満足していないと判断しました。直ちに使用済燃料プールへの水張り作業を実施し、当該警報は解除され、午前5時5分頃「運転上の制限」を満足していることを確認いたしました。

なお、現在はプールゲート間の水抜き作業を中断しているため、使用済燃料プールの水位は安定しています。

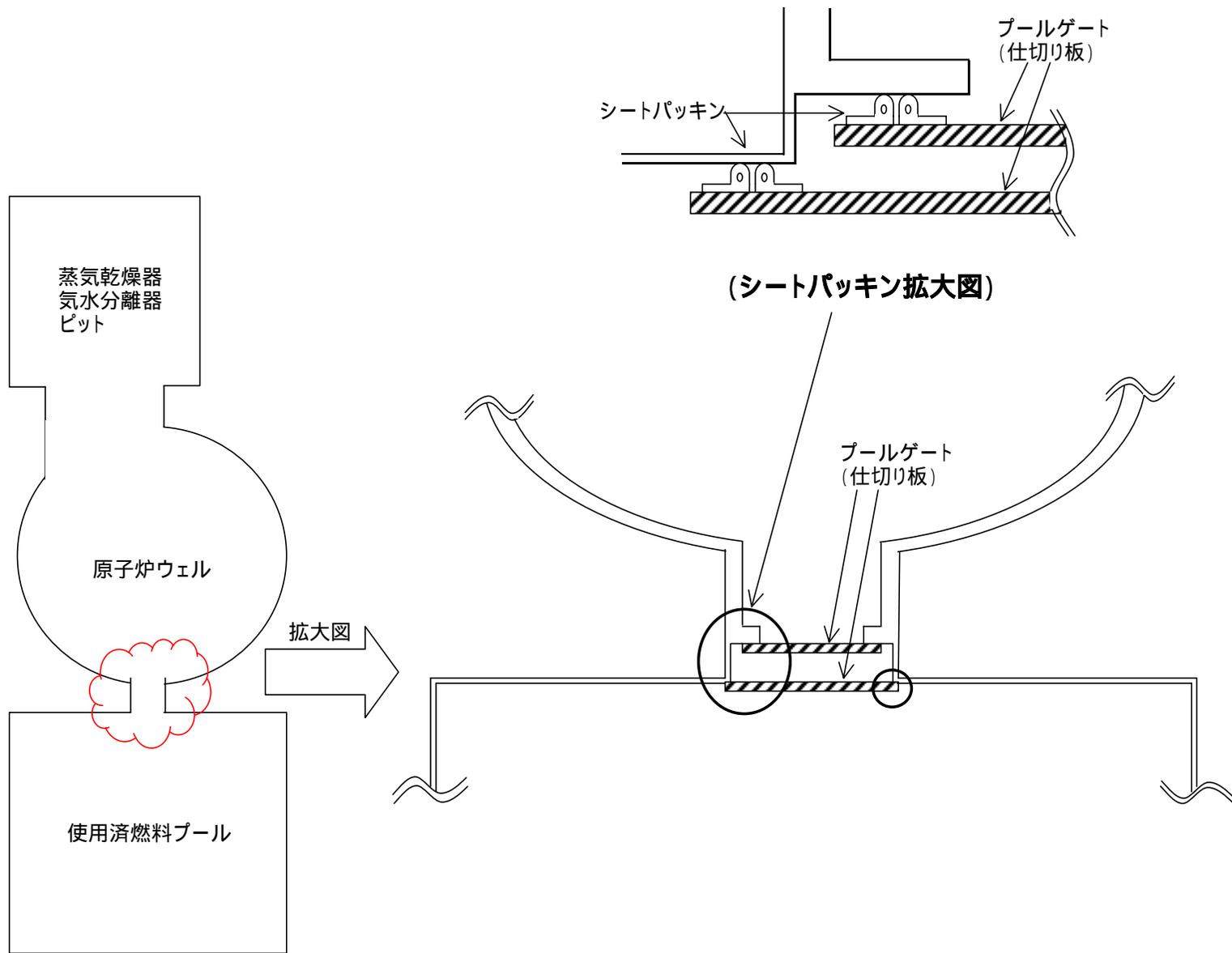
原因については、原子炉ウエルと使用済燃料プールをつなぐプールゲートの密閉性に問題があったと推定しておりますが、詳細については現在調査中です。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以上

注：運転上の制限

保安規定では原子炉の運転に関し、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することになっています。



5号機原子炉建屋4階オペレーティングフロア平面図